

Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021 受賞記念展 のお知らせ

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団は、「Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021 受賞記念展」を開催します。

Tokyo Contemporary Art Award は、海外での活動に意欲を持つ中堅アーティストを対象として継続的な支援を図ることを目的に平成30(2018)年度に創設されました。その第1回の受賞者となった風間サチコと下道基行による、受賞後2年間の活動の成果となる受賞記念展覧会を東京都現代美術館にて開催します。

また、展覧会開幕に合わせ、各受賞者のモノグラフ（作品集）を発行します。

1 展覧会概要

展覧会名：Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021 受賞記念展

出展作家：風間サチコ、下道基行

会期：令和3(2021)年3月20日（土曜日）～6月20日（日曜日）

会場：東京都現代美術館 企画展示室 1F（東京都江東区三好 4-1-1）

開館時間：10:00～18:00（展示室入場は閉館30分前まで）

休館日：月曜日（5月3日は開館）、5月6日

入場料：無料

主催：東京都、

公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーアーツアンドスペース・東京都現代美術館

協力：無人島プロダクション、公益財団法人 福武財団

ウェブサイト：<https://www.tokyocontemporaryartaward.jp/>



2 モノグラフについて

展覧会開幕に合わせ、各受賞者のモノグラフ（作品集）をそれぞれ発行します。モノグラフには、作品画像のほか、作品や制作についての受賞者による文章、本賞選考委員等による寄稿が掲載されます。

モノグラフのPDFデータを令和3(2021)年3月下旬頃に上記ウェブサイトにて公開予定です。

※賞の概要及び選考委員、受賞者のプロフィールにつきましては別紙をご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、変更等が生じる場合があります。

【問い合わせ先】

生活文化局文化振興部文化事業課 電話 03-5320-7703

公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課
電話 03-5245-1142

【参考】Tokyo Contemporary Art Award について

(1) 第1回 (Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021) 受賞者

風間 サチコ (かざま さちこ)

下道 基行 (したみち もとゆき)

(2) 第2回 (Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022) 受賞者

藤井 光 (ふじい ひかる)

山城 知佳子 (やましろ ちかこ)

令和4年春 受賞記念展開催予定

(3) 第3回 (Tokyo Contemporary Art Award 2021-2023) 受賞者

令和3(2021)年1月 受賞者の発表

令和3(2021)年3月 授賞式

受賞者のプロフィール、受賞理由等の詳細は Tokyo Contemporary Art Award ウェブサイトをご覧ください。



【第1回】授賞式及び受賞記念シンポジウムの様子(平成31(2019)年4月)

本件は、「『未来の東京』戦略ビジョン」を推進する先導的事業です。

戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略「アートショーケース TOKYO プロジェクト」

本件は、「ホストシティTokyoプロジェクト」に係る事業です。

「カテゴリー：魅力発信 プロジェクト名：東京文化プログラムの拡充・推進」

「Tokyo Contemporary Art Award」 概要

【目的】

国内で実績があり、世界に発信すべき中堅アーティストのステップアップを促し、世界で活躍するアーティストの登竜門となるような賞として、東京の文化都市としての魅力を向上させる。

【対象】

海外での活動に意欲があり、概ね10年以上の活動経歴を有する現代美術の分野で活動する中堅アーティスト（ジャンル不問）

【特徴】

- ・スタジオ訪問や面談により、**作品のみではなく、制作のプロセスを含めたアーティストのポテンシャルを総合的に審査**
- ・受賞から、**東京都現代美術館で展覧会を実施**するまで、2年間をかけて**継続的に支援**

【支援内容】

受賞者は2組とし、それぞれに以下の支援を行う。

- (1) 賞金300万円
- (2) 海外での活動支援上限100万円（旅費、滞在費、調査・制作費等）
- (3) 展覧会実施（東京都現代美術館での展示）
- (4) モノグラフ（作品集）の作成（上記（3）の展示にあわせて制作）

【賞のスケジュール】



選考委員

(順不同／敬称略)

ソフィア・ヘルナンデス・チョン・クイ *第3回(令和2年度)から	旧称 ヴィッテ・デ・ヴィット現代美術センター ディレクター
住友 文彦	アーツ前橋 館長／東京藝術大学大学院 准教授
高橋 瑞木 *第3回(令和2年度)から	CHAT (Centre for Heritage, Arts and Textile) エグゼクティブディレクター 兼チーフキュレーター
キャロル・インハ・ルー	北京インサイドアウト美術館 ディレクター
鷲田 めるろ *第3回(令和2年度)から	十和田市現代美術館 館長
近藤 由紀	トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター (公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課長)

※肩書きは、令和3(2021)年1月時点のものです。



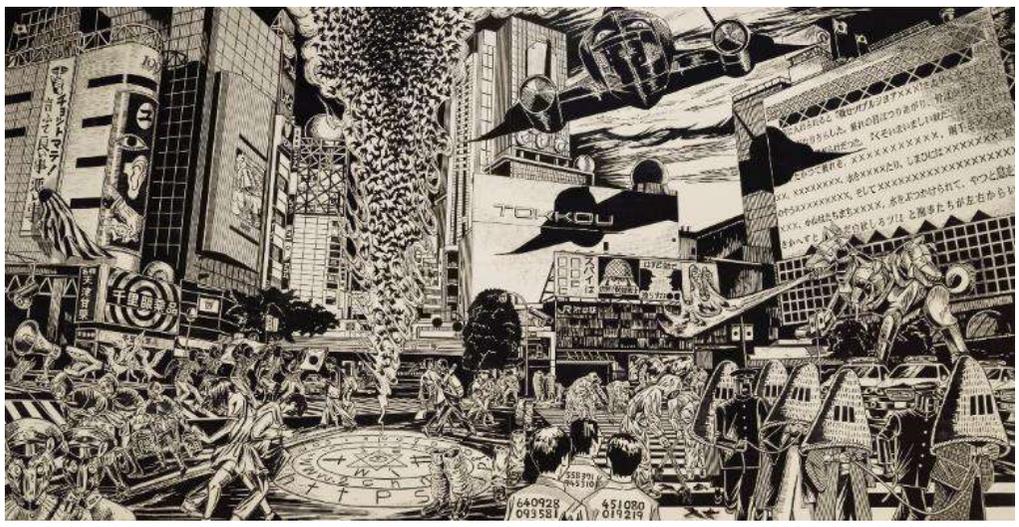
Tokyo Contemporary Art Award 2019-2021 【受賞者のプロフィール等】

風間 サチコ (かざま さちこ)

～木版を中心に作品を発表～

1972年東京都生まれ。東京都在住。1996年武蔵野美術学園版画研究科修了。

「現在」起きている現象の根源を「過去」に探り、「未来」に垂れこむ暗雲を予兆させる黒い木版画を中心に制作する。ひとつの画面にさまざまなモチーフが盛り込まれ構成された木版画は漫画風でナンセンス、黒一色のみの単色でありながら濃淡を駆使するなど多彩な表現を試み、彫刻刀によるシャープな描線によってテーマを巧みに表現する。



《人外交差点》
木版画(パネル、和紙、油性インク)、2013
撮影:渡邊 修
Courtesy of Mori Art Museum
Queensland Art Gallery | Gallery of Modern Art蔵

下道 基行 (したみち もとゆき)

～写真を中心に作品を発表～

1978年岡山県生まれ。岡山県在住。2001年武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。

「戦争のかたち」シリーズ(2001-2005)など、旅やフィールドワークをベースにした制作活動で知られる。生活のなかに埋没して忘却されかけている物語、些細すぎて明確には意識化されない日常的な物事を、写真やインタビューなどの手法によって編集することで顕在化させ、地続きの出来事として「再」提示する。



《漂泊之碑》ガラス、ミクストメディア、2015-